

小林ほとり

好きな男の子が

女体育教師とできてた。

一ノ瀬ともや

三田ひろみ



はいはい、  
授業始めるぞー！


はい。







ほろり……!!



どうしたんだよ…!?

皆…  
心配してるぞ……?!

お父さん……  
他の女の人……  
好きになって……。

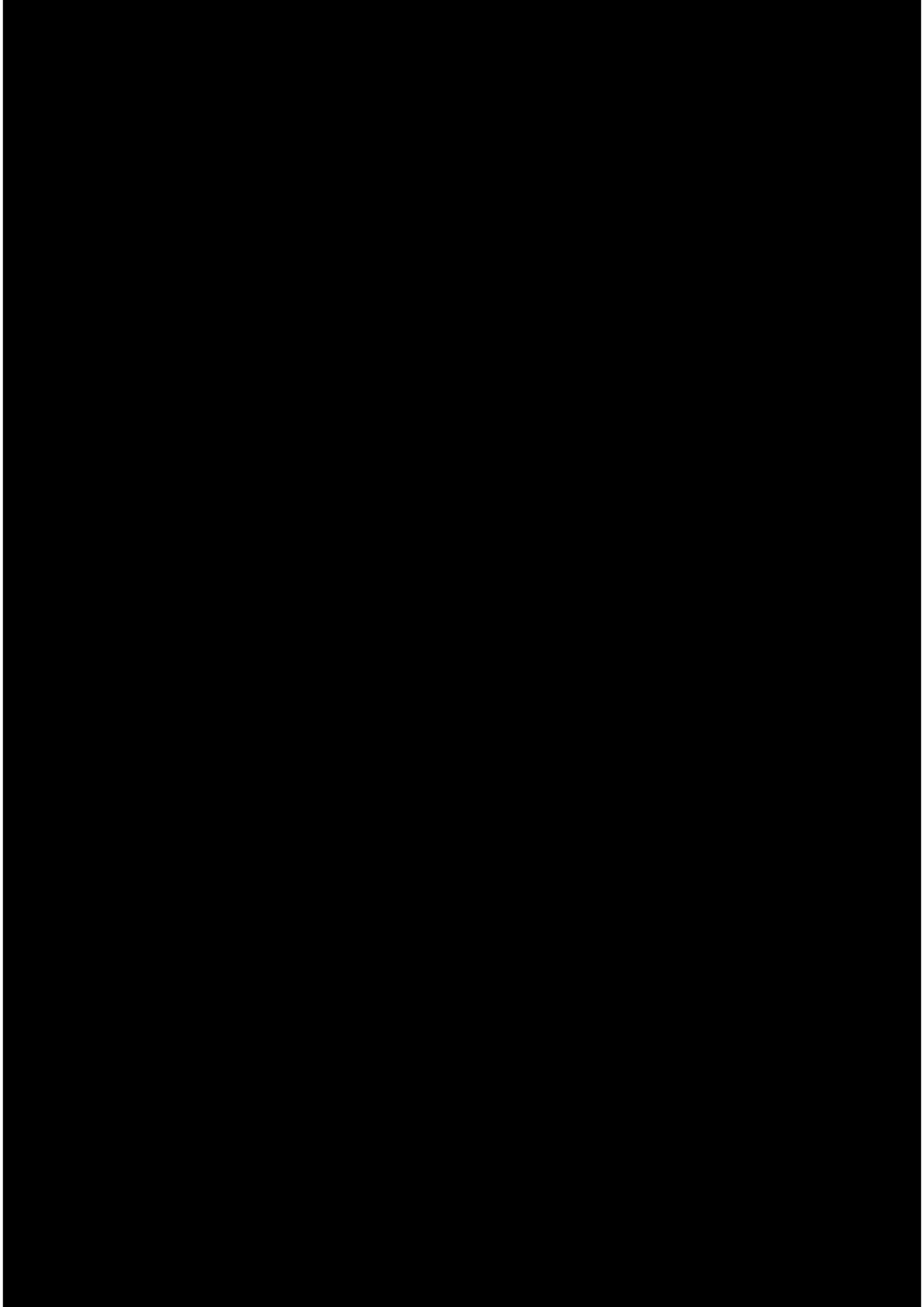
連絡つかなく  
なっちゃった……。



お母さん……  
暴れて……泣いてた……。

「お前のことは……  
もう好きじゃない……」って  
お父さんから  
言われたんだって。







でも…あの時と比べて  
元気になってくれて  
本当によかった……。





ごめんっ...!!



がっ...  
あっ...



いいよっ...。  
私が長風呂してたのが  
悪いんだし...。


ごめん...。  
ほりっ...ちぎ...




私が...  
居候してる身  
だしさ...。

それに...。






私が…いなければ…。  
さつきみたいなのことも…  
起こらなかったわけだしさ…。



ほんとに…  
ごめんね…。



気使わせちゃって…。





そういえばさ、  
ほとりんって  
好きな人いるの？



あっこれ  
絶対いる反応だ...

ポツッ

い...いないけど...



はいっ…  
ほとりん、捕獲ー！

好きなやつの名前言うまで返さんよー！

じゅじゅー…。



私……ともやのこと…  
好きなのかな…かな…？

でも…好きな人っていうか…  
家族…だよね…？  
昔から…一緒だったし…  
兄妹…みたいな？



えー、じゃあさ、  
そいつに彼女いるのかだけ  
教えてよー！。

名前は  
言わなくても  
いいからさー！。

わっ…

ホントにー？  
あれ？ほとりん顔  
めっちゃ赤いじゃん。

とわ  
とわ

わかんないよっ…  
そんなの…

純情だね！

まあ、好きな人  
他のやつに取られないように  
気を付けなよ。

だから、  
いないってば…。

ともや…  
彼女いるのかな…？



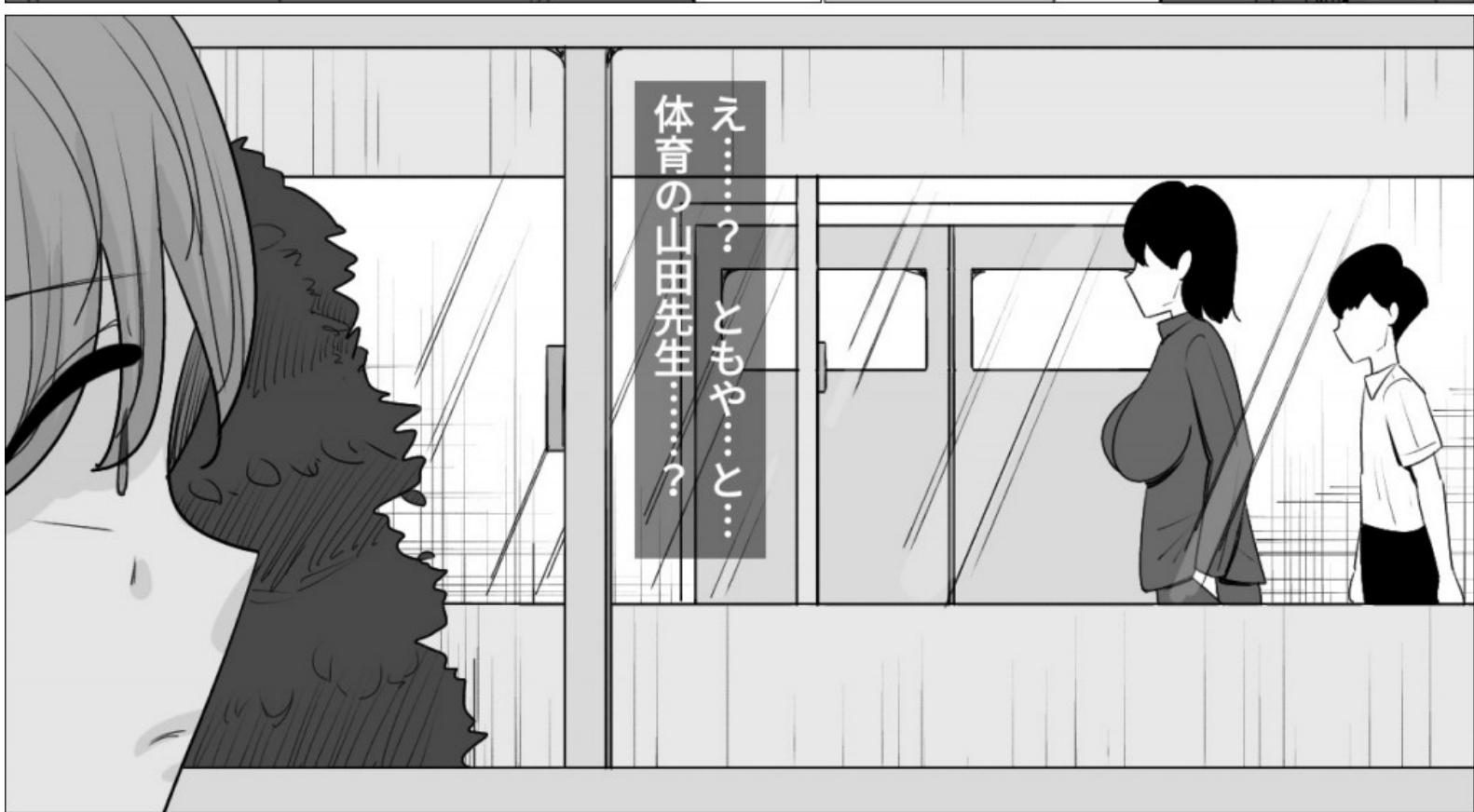
おい、  
見ろよあれ…。

山田先生じゃん、  
えっろ…。



やばいよな！  
大人の女性って感じで。

てか胸でけー！  
顔きれいだしよー！



僕っ……。  
先生のことが……  
好きなんですっ……。





え……!!?



シっ……!!?  
だから声が  
でかたって……お前……。

僕っ……  
本気なんです……。



この前も言ったけど……  
無理だよ……  
私たち教師と生徒だし……。



それに先生もう35だぞ？  
こんなおばさんより……  
若い女のほうがいいだろ……？



前……体育の時間に……  
僕……体操する相手……  
いなくて……  
先生……僕とペアに  
なってくれましたよね……？

じゃあ、  
先生とやるかー？

なんだー、一ノ瀬  
体硬いなー！

その時……僕……  
先生のこと……  
好きになったんです……。



僕…その時…  
クラス替え直後で…  
友達…うまく作れなくて…

僕…先生と  
しゃべれて…

すごく  
楽しかったんです…。

ほら、たえろー。  
がんばればまだまだ  
曲げられるぞー！

はっし…。



だめだ……。諦めろ……。

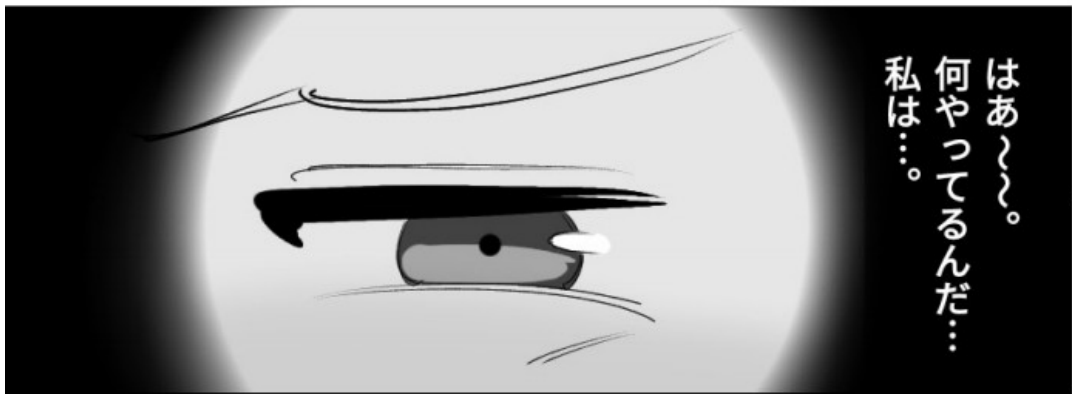
気持ち嬉しいけど、お前と付き合ったら、先生クビになっちゃうから……な？

他に好きな女  
見つけれ……。

卒業したら……  
また考え直して  
くれますか……!!

んー、そうだなー！  
どうだろう……。  
でも、お前本当に  
それでいいのか？

卒業したら……  
絶対に……もう一回告って  
先生と……付き合いたい……。



はあ……。  
何やってるんだ……  
私は……。

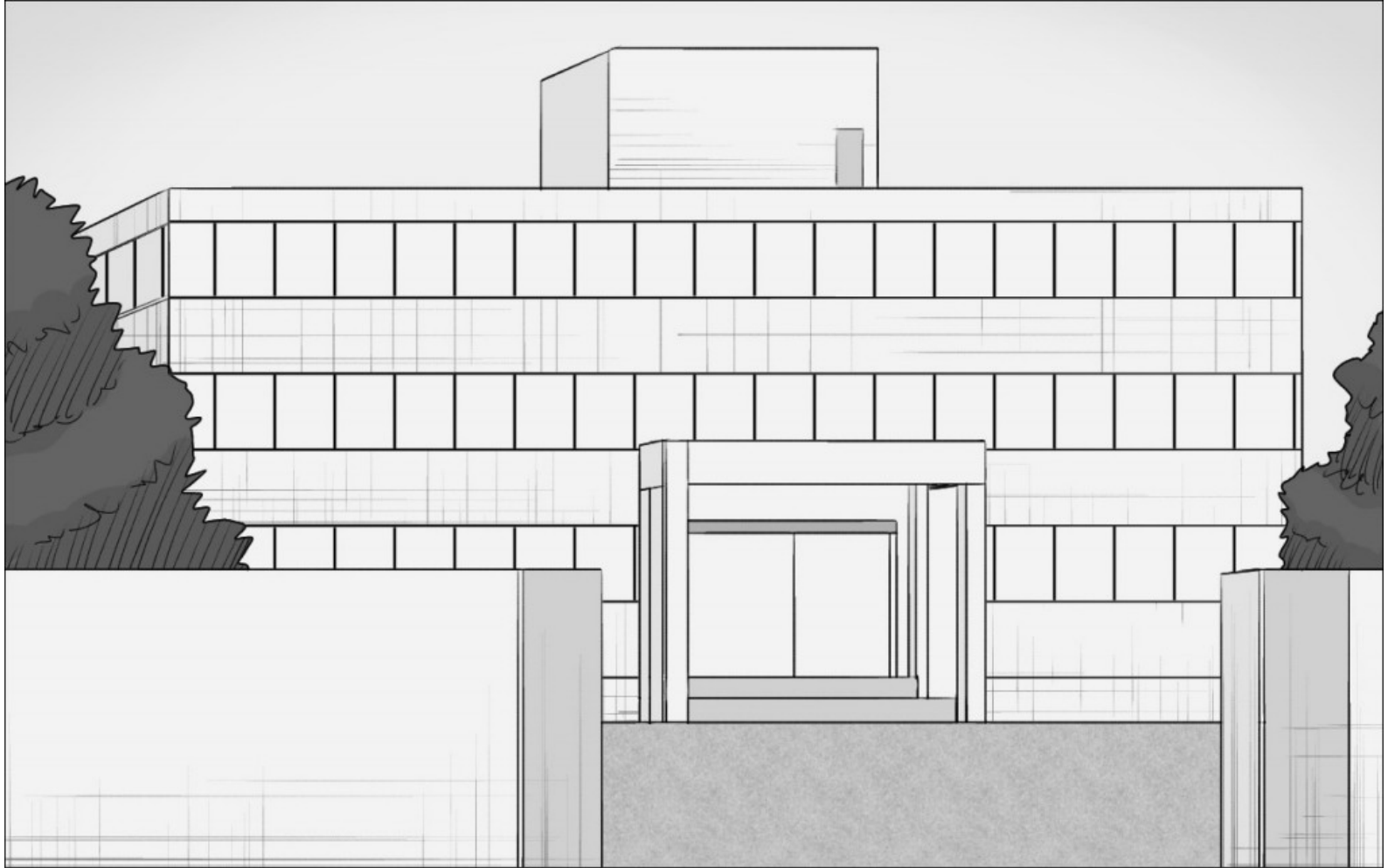


なんで…子供の言ったことに……  
ドキドキしちゃってるんだよ……。



あんな告白……  
初めてされた……。

だめだ……あいつは  
生徒なんだぞ……。



この学舎での  
経験を活かし…



我々…卒業生一同は  
今後も…



人々のために  
社会のために  
頑張ります。



先生のことが……  
忘れられませんでした……。

先生……僕……  
この1年間……ずっと……。



お願いします……。  
僕と……  
付き合ってください……。



はいっ…!!

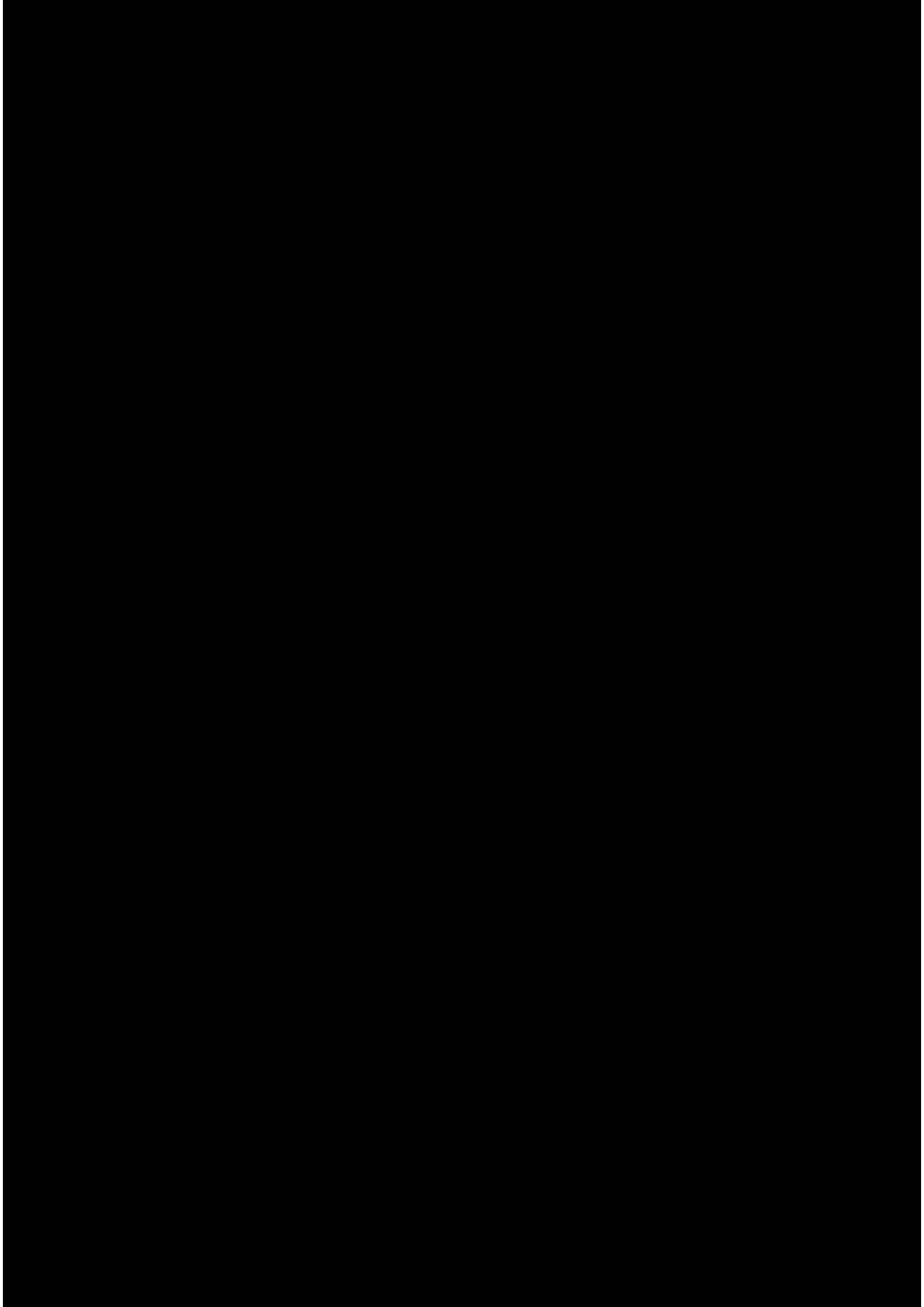
よろしくなっ。  
一ノ瀬…ともや…。

はい…。



こんなおばさんで  
いいのか…?  
本当に…。







それから一人で  
色んなところに行った。



写真も撮って…。



美味しいものも食べた…。  
あと意外と先生は  
可愛いところがあり、  
魅力的な人だなと思った。



まだ…はえーよ…  
それは……。



はあ…!?



僕……ひろみちゃんと…  
お風呂入りたい……。



ねえー、  
いいじゃーん…。  
そんな減るもん  
じゃないんだしー！

えー……やだよ……

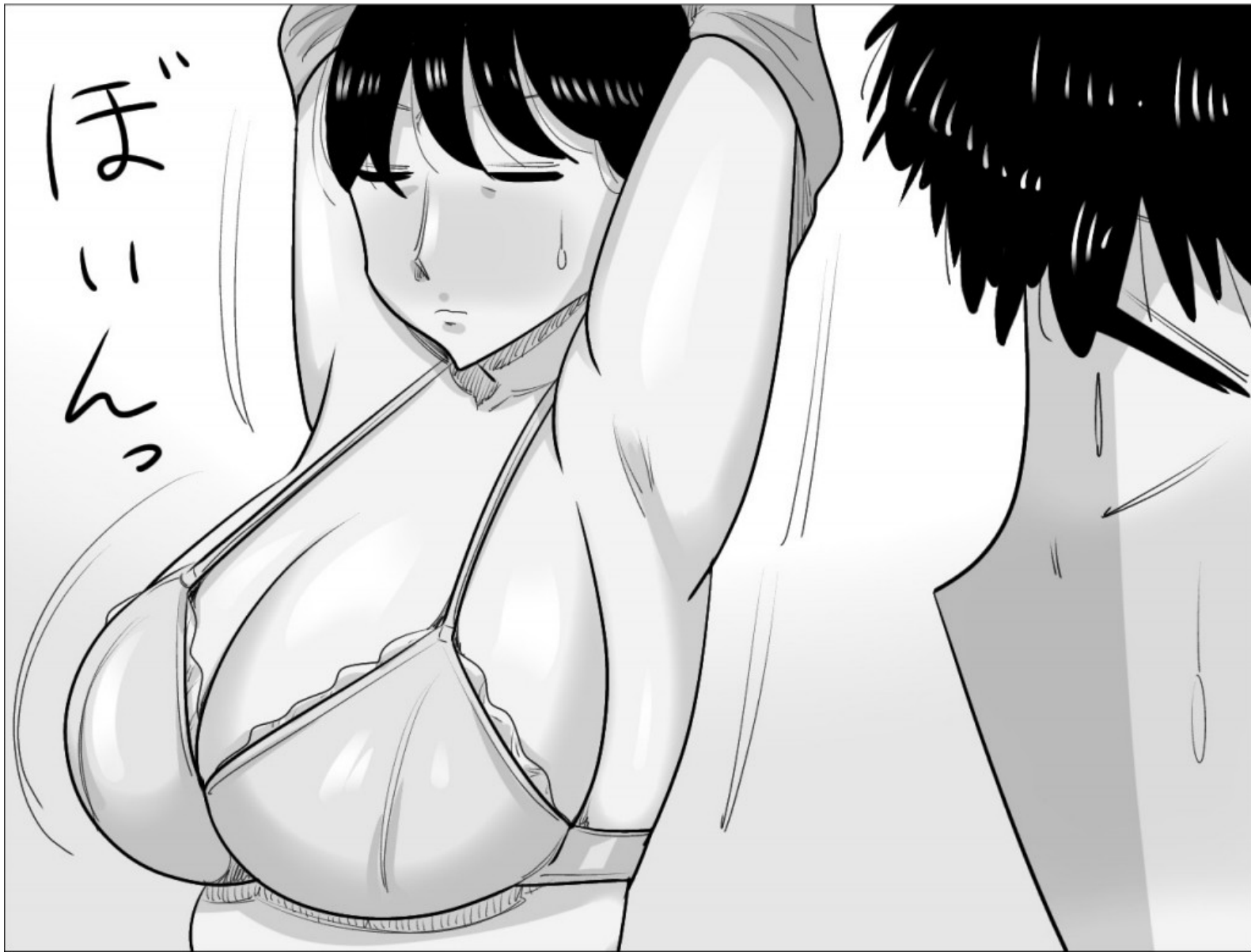
このスケベ小僧め……。

うっ…  
あんま見んなよ。



本当に  
入るのか…?

うん…  
入ろう入ろう。



ぽんぽん

相手は…  
10以上歳下なのに……。



なっ…なに  
恥ずかしくて…私…。

HDS……。

で…でかい…し…

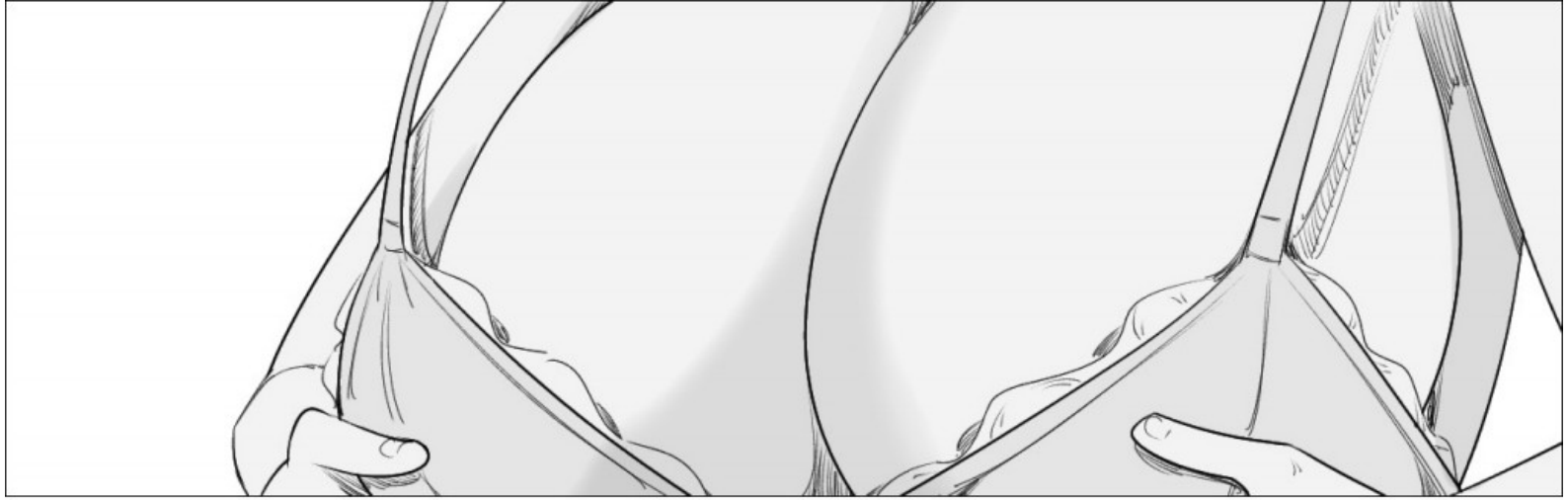


うるさい、  
バカ……。



きれいだよ…。  
ひろみちゃん……。

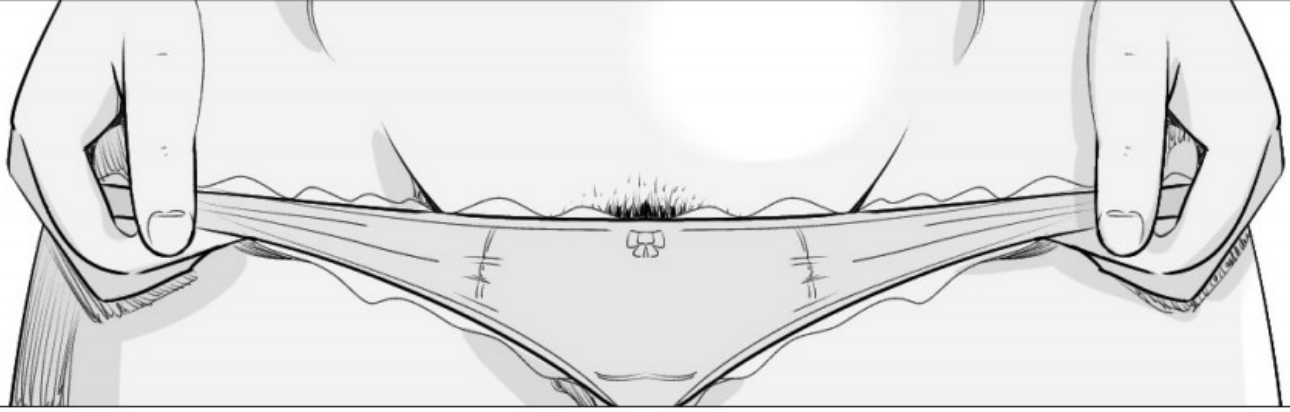
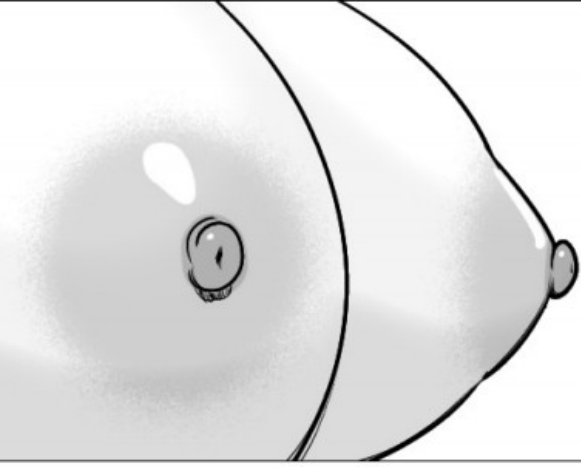




すごい……おっきいとは思ってたけど……。やっぱ……すごいな……。エロい……。



恥ずかしがってる……可愛い……。





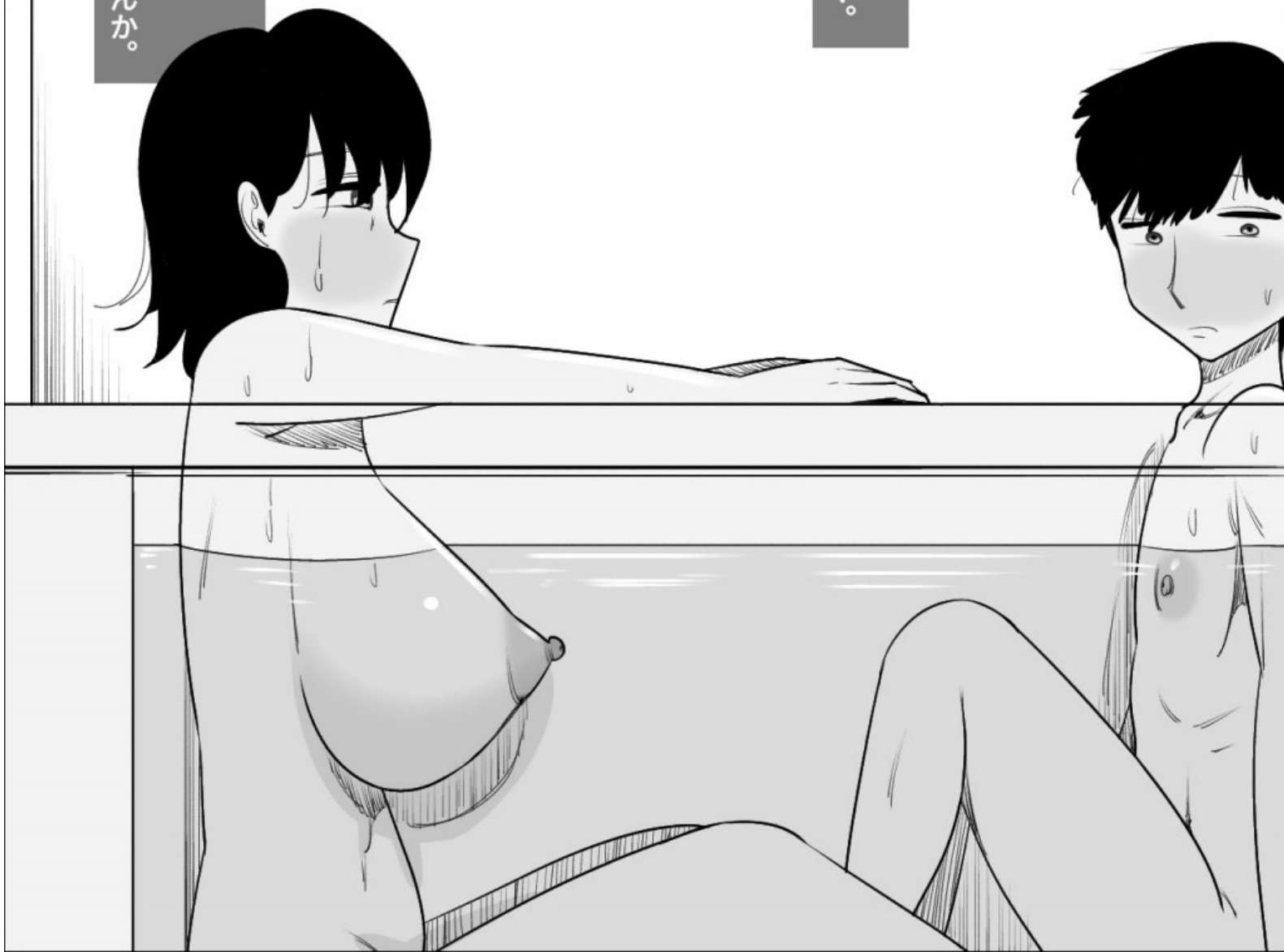
ああ…

そっ…そんなじゃ  
入ろうか…

自分から入ろうって  
言ったけど…  
いざそうになると  
緊張するな…

やばい…  
勃ってきちゃった…

なんだよ…こいつ…  
自分から入ろうって  
言ったくせに…  
なんもしてこねーじゃんか。





はあっ…ひろみちゃんに…  
僕…体洗われちゃってる…  
声我慢しないと…。



普段は生意気だけど…  
可愛い反応だな…。



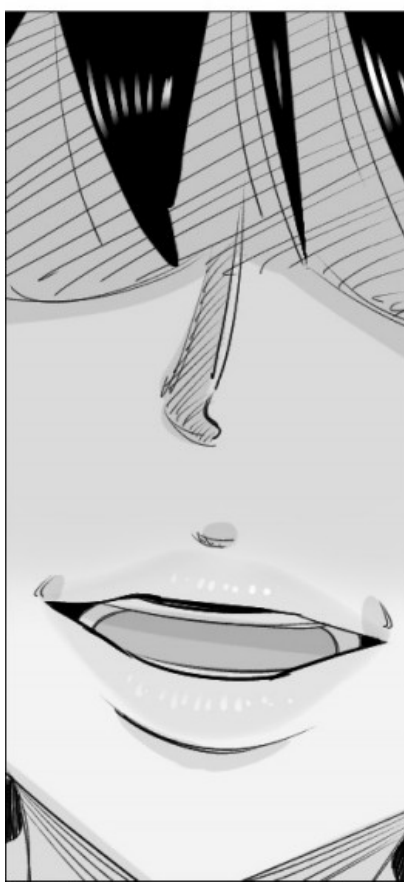
こ…こも…洗うぞ…。



らやっ…  
こ…は…。

つべこべ言わない…。  
男らしく堂々としろ！





私で興奮したのか……。

えっ……っ……っ……  
ちんこ……おっきいな……。

あの……これは……  
そういうんじゃないかって……。  
生理現象というか……。

やばい…変なスイッチ…



はあ

はあ

くちゅ

くちゅ

入っちゃったな……。

あつ…だめだって…  
ひろみちゃん……。



あっ

そんなに  
したらっ……。

ビクッ

すごいっ……  
おっきくなってる……。  
挿入れたら…気持ち良さそう……。

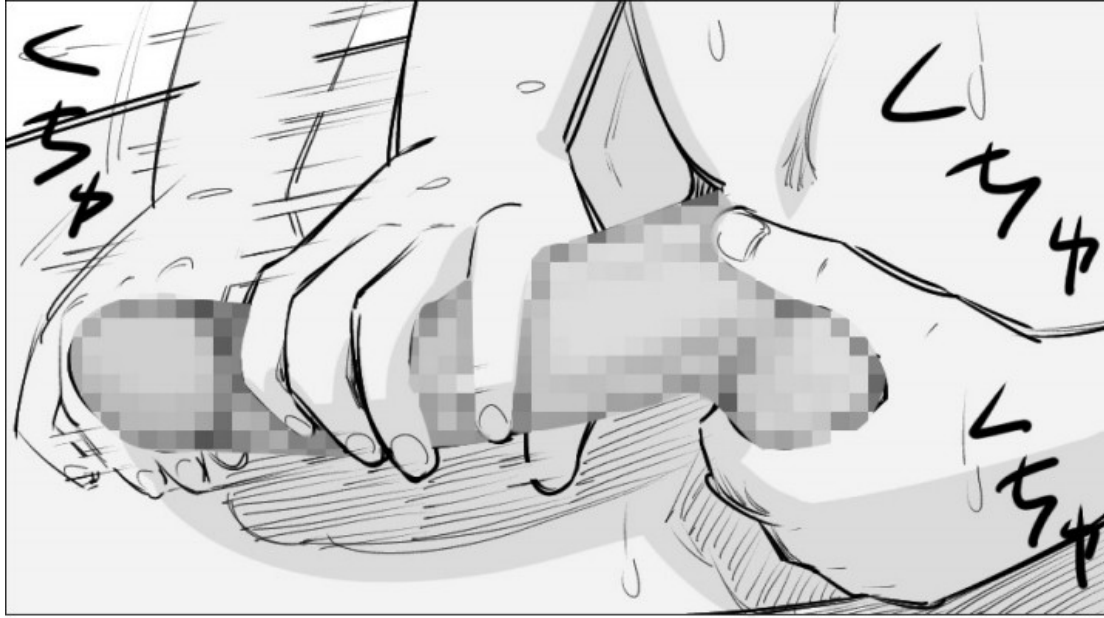


くちゅ

くちゅ

くちゅ

はやく……  
挿入りたい……。



何がだめなのー？  
ともやー……。



ここ汚れやすいから  
きれいにしとかないとねー！

待って…  
ほんと待った…。



あれー？  
なんか出たよー。  
これ洗剤じゃない  
でしょー！  
ともやー！



ほとりちゃん、  
最近ともや帰りが遅いけど  
なんか知らない？



え…うそー。  
おばさん、ともやは  
ほとりちゃんのこと  
好きだと思っけどな！



さ…さあ…  
彼女でもできたん  
じゃないですかね…？



そう…ですかね…。  
でも…ともやは…  
年上好き…だと思っけどな！



んっ…だめだってば…  
ともや……。

はっ

ビクッ

ビクッ

さっき…俺のこと  
気持ち良くしてくれたから…  
ひろみちゃんにもしてあげる。



……  
……  
からかいすぎたかな……。  
ともや…怒ってる……？

ひろみちゃんも触ってきたし…  
僕も…触っていいよな……？

すごい柔らかくて…大きい…  
ひろみちゃんの…おっぱい……。



やっ...それ...  
だめっ...。

ちゅっ



やばい.....  
すごい濡れてる.....  
私.....。

ひろみちゃん...  
すごい濡れてる.....  
喜んでる.....？

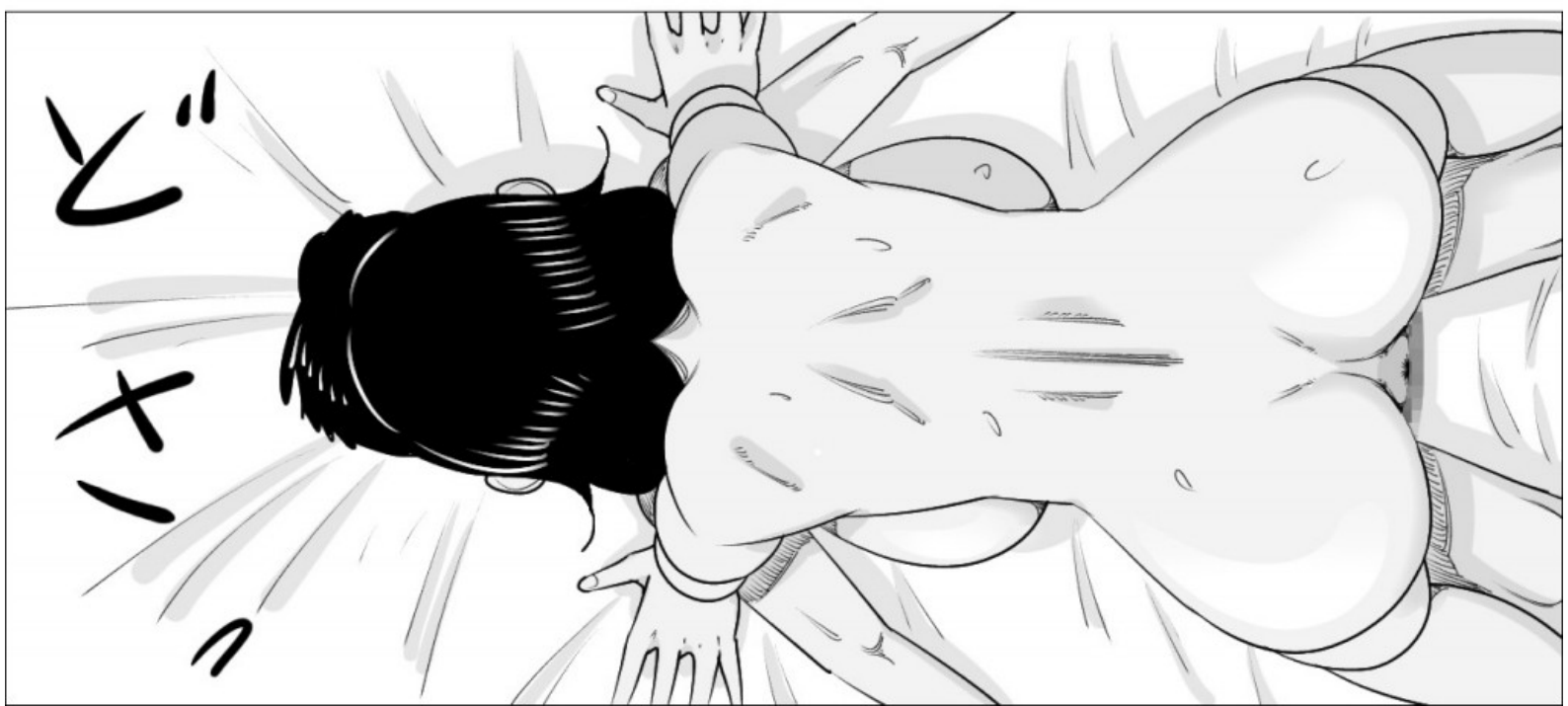
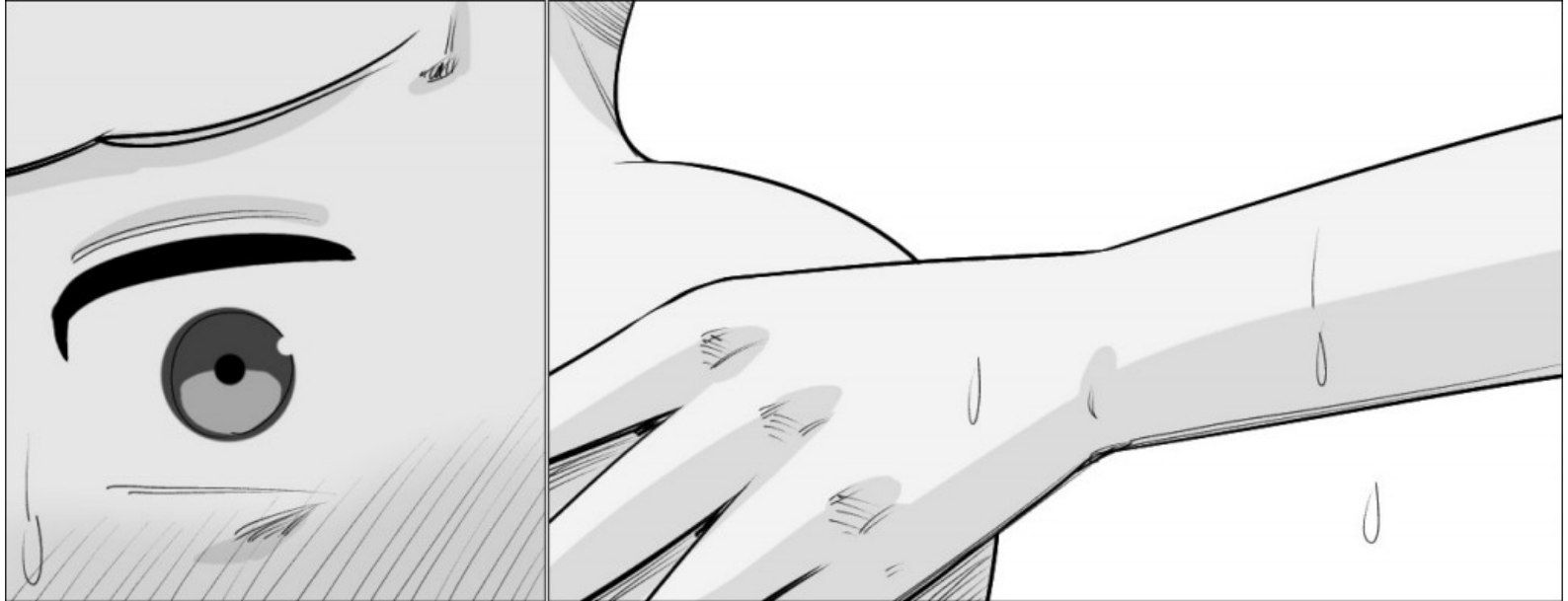
ちゅっ

んっ



ごっごめん…  
ひろみちゃん…。  
痛かった……？

.....



あっ……  
ひろみちゃん……。

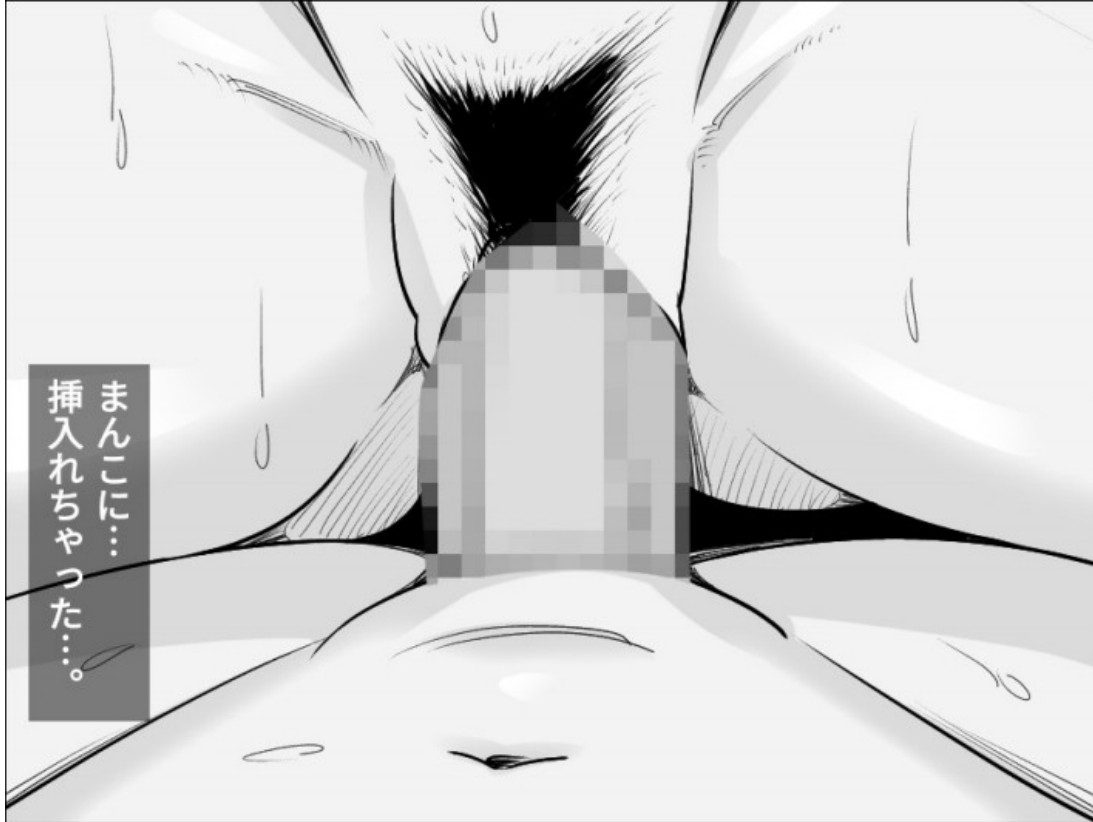
責任……取ってよ……。  
ともや……。

大好きっ。

あっ  
っ  
っ  
っ

っ  
っ

っ  
っ  
っ



まんこに……  
挿入れちゃった……。



あつ……僕……  
ひろみちゃんの……。



ああつ……  
挿入っちゃった……。

もう……離さないぞ……。  
ともや……  
一生一緒だからな……。





やばい…気持ちいい……。ていうか…ひろみちゃん…。

自分からこんなにしちゃうって…。

あーぐちゃっ

あーぐちゃっ



こんなにエロいなんて……。

あーぐちゃっ

あー



学校にいたときはあんなに…カッコいいって感じの女の人だったのに…。

あー

あー



ともや…。  
私…ともやの…  
大好きだった…。

んっ…僕もだよ…  
ひろみちゃん…。



あっ…いつでも…  
出していいからなっ？

自分のタイミングで  
いけよっ…？

あっ

あっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ





ねえ…最近…どこ行ってるの？  
あんまり家にいないし……。

ともやつ……。



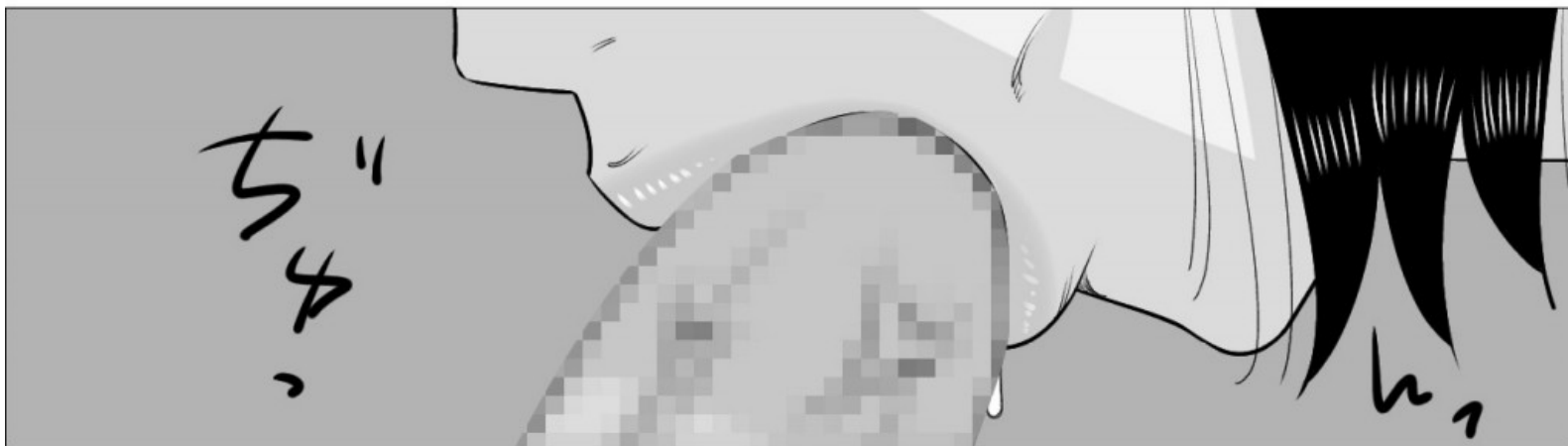
友達も…できた？

大学の勉強とか  
ちゃんとやってる？

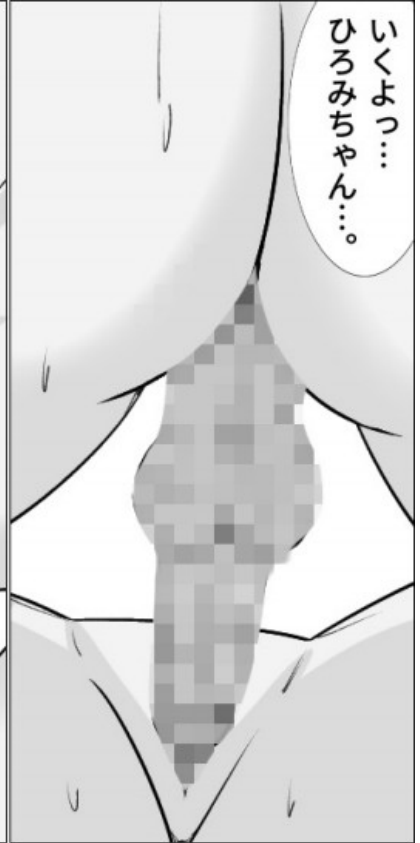
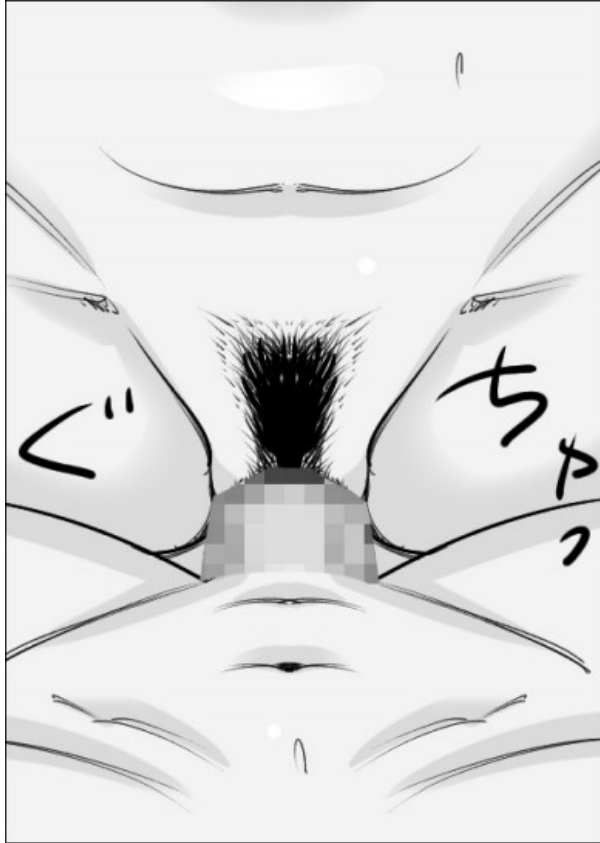


またあとでな。

ごめん…  
今時間ないっ……。

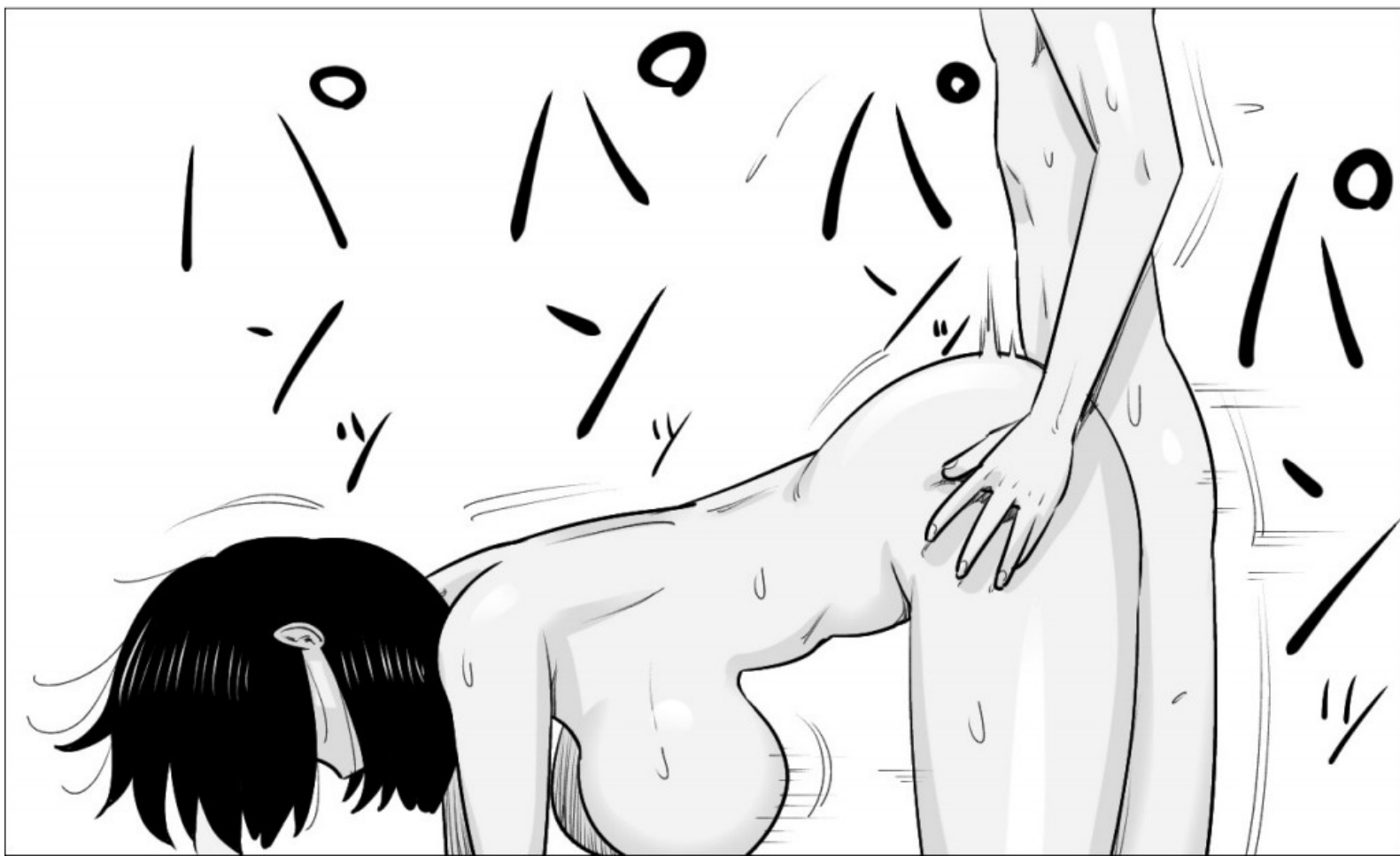






あっ…生で…  
挿入れちゃった…

ともや…そこまで…  
考えてくれてたんだ…  
ともやのためにも…  
赤ちゃん…



あつ…  
ひろみちゃん…  
大好きっ…。

私もっだよっ…。  
ともやっ…。

びびるっ

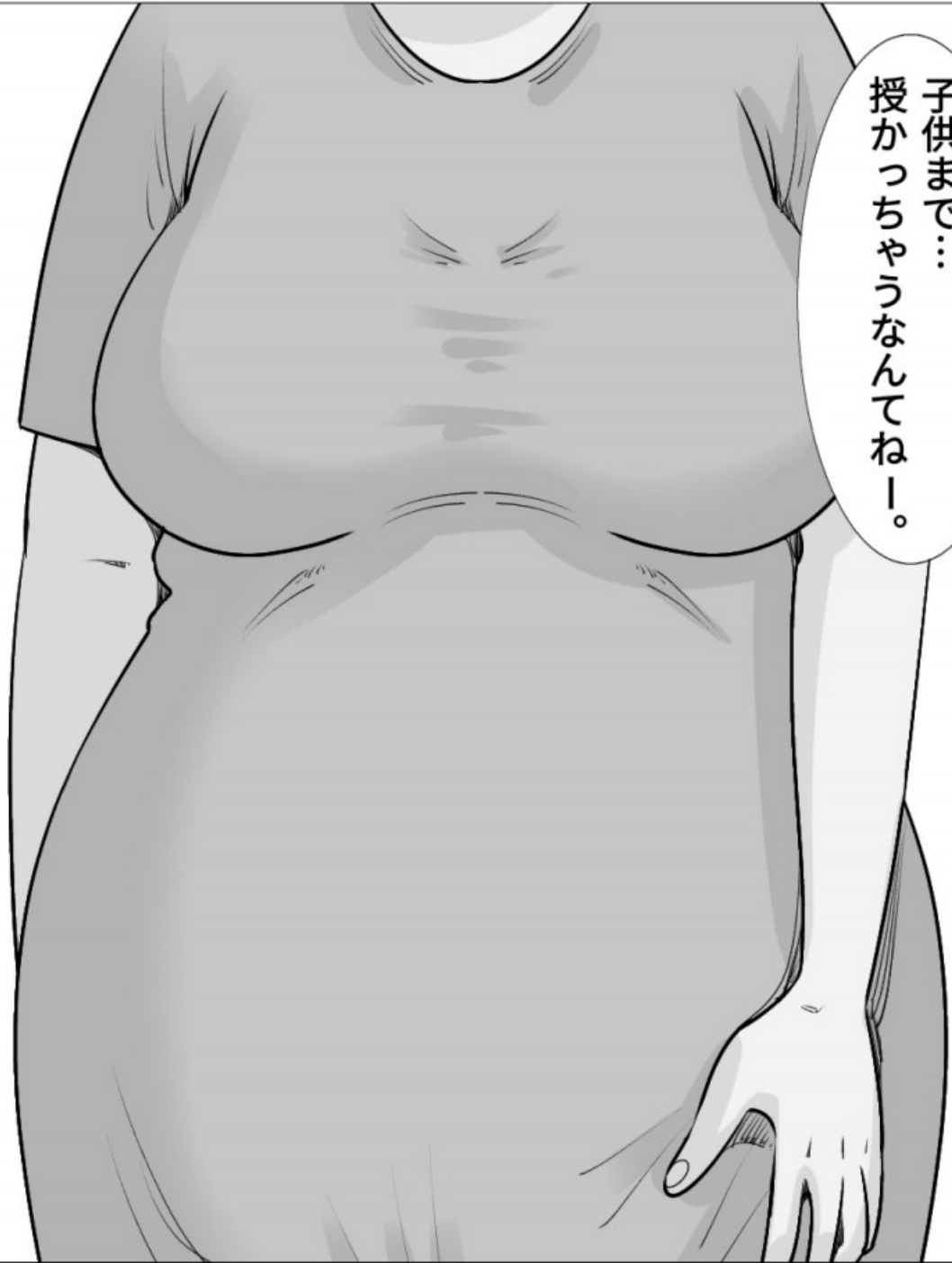


えへへへ…  
ごめんね。  
みんな黙ってて…

いやー。でもまさか  
先生がうちの子と  
できていたなんてな！

もちろん、学生時代は  
付き合ってたませんよ？  
付き合い始めたのは  
卒業後です。

子供まで…  
授かっちゃうなんてね！



同人誌のご購入、  
ありがとうございます！  
他の作品もチェックしてみてくださいね！

ツイッター、ピクシブ、  
シエン、ファンボックス、  
ファンティアやっています！  
イラスト投稿しますので、  
見てみてね！

